

神津島村地域  
循環型社会形成推進地域計画（第一期）

東京都神津島村

平成 23 年 1 月 14 日

平成 24 年 12 月 3 日(変更)

平成 25 年 12 月 9 日(変更)

## 目 次

<b>1</b>	<b>地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項</b> .....	1
(1)	対象地域.....	1
(2)	計画期間.....	1
(3)	基本的な方向.....	1
(4)	広域化の取り組み状況.....	1
<b>2</b>	<b>循環型社会形成推進のための現状と目標</b> .....	2
(1)	一般廃棄物等の処理の現状.....	2
(2)	生活排水の処理の現状.....	3
(3)	一般廃棄物等の処理の目標.....	4
(4)	生活排水処理の目標.....	5
<b>3</b>	<b>施策の内容</b> .....	5
(1)	発生抑制、再使用の推進.....	5
(2)	処理体制.....	6
(3)	処理施設等の整備.....	9
(4)	施設整備に関する計画支援事業.....	10
(5)	その他の施策.....	10
<b>4</b>	<b>計画のフォローアップと事後評価</b> .....	11
(1)	計画のフォローアップ.....	11
(2)	事後評価及び計画の見直し.....	11
	添付資料.....	12
	様式関係.....	18

## 1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

構成市町村名	神津島村
面積	18.87 km <sup>2</sup>
人口	1,999 人（平成 22 年 3 月末現在）

### (2) 計画期間

本計画は平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。  
なお、目標の達成状況及や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

### (3) 基本的な方向

神津島村地域は、家庭系ごみの燃えるごみが大部分を占めており、その中でも容器包装廃棄物が多いため適正な処理を進めているとともに、「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」に則り、対象となる全品目の分別排出・収集を行い、本村においてできる限りの循環型社会に向けた循環型廃棄物・資源化処理システムの構築に取り組む。

また、一般持込ごみ及び事業系ごみは平成 19 年 10 月 1 日からごみ処理の有料化を実施しているが、今後も発生・排出抑制、分別搬入の推進を継続する。

さらに、生活排水による周辺海域の水質改善を図るため、農業集落排水処理施設整備区域内は管渠接続への加入を促進し、また整備区域外は合併処理浄化槽の整備を進める。

### (4) 広域化の取り組み状況

平成 10 年度から島しょ地域の循環型ごみ処理を目指して、「島しょ地域における循環型ごみ処理システムの構築に向けて」の検討が進められ、平成 13 年 7 月に東京都島嶼町村一部事務組合の規約が改正された。また、本村は平成 18 年度より、大島一般廃棄物管理型最終処分場へ焼却灰及び処理後のばいじんを搬出処分している。

## 2 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成 21 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図 1 のとおりである。

総排出量は 2,172.44 トンであり、再生利用される「総資源化量」は 486.84 トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団回収量））は 22.40%である。

中間処理による減量化量は 1,023.20 トンであり、排出量のおおむね 5 割が減量化されている。また、排出量の約 30%に当たる 662.40 トン埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は 1,159.80 トンである。本村のごみ焼却施設は小規模であることから、余熱利用は行っていない。

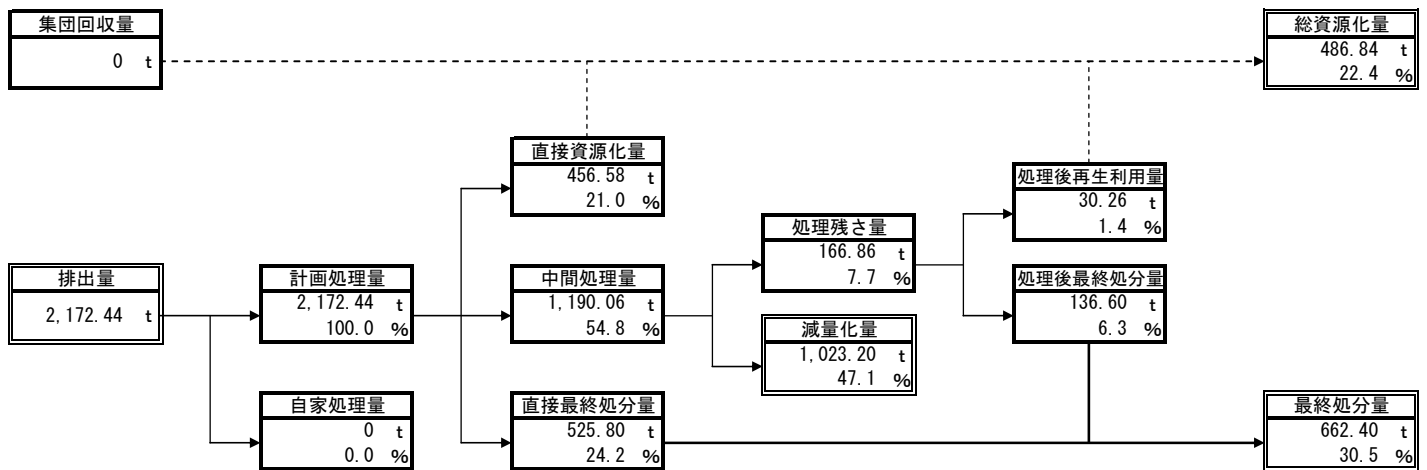


図 1 平成 21 年度 一般廃棄物の処理状況フロー

## (2) 生活排水の処理の現状

平成 21 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は次のとおりである。  
生活排水処理対象人口は、全体で 1,999 人であり、水洗化人口は、1,713 人、汚水衛生処理率 85.7% である。

し尿発生量は 961k1/年、浄化槽汚泥発生量は、246k1/年であり、処理・処分量（＝収集・運搬量）は 1,207k1/年である。

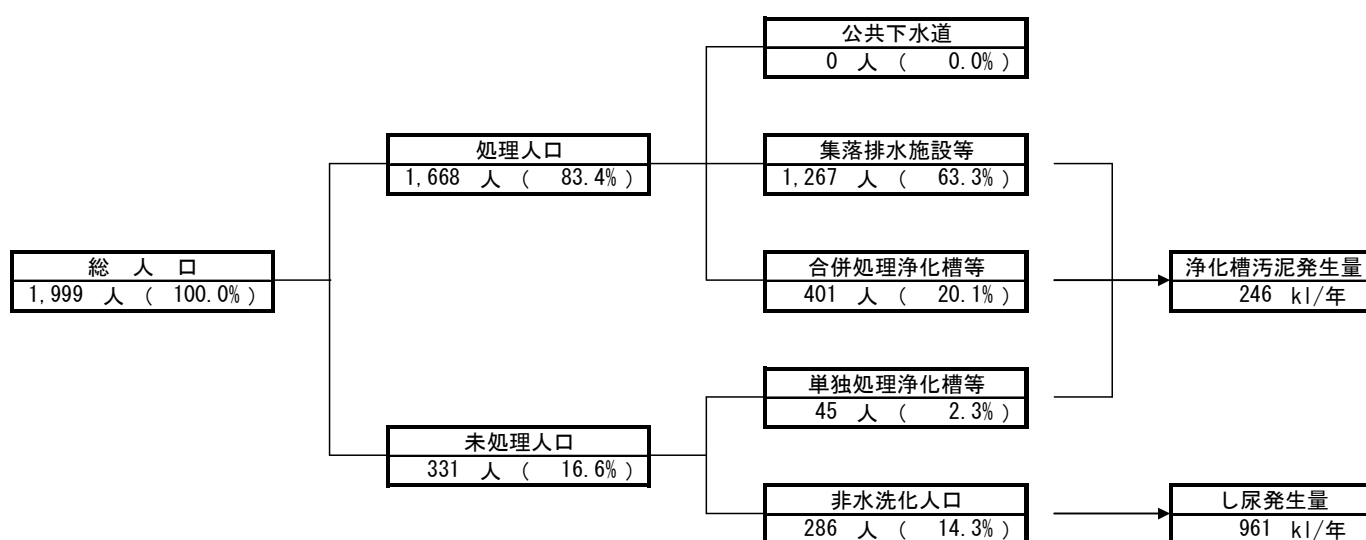


図 2 平成 21 年度 生活排水の処理状況フロー

### (3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中は、廃棄物の減量化・資源化を含めた循環型社会の構築に向けて、表2のとおり目標を定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表2 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現状 (割合※ <sup>1</sup> ) (平成21年度)	目標 (割合※ <sup>1</sup> ) (平成28年度)
排 出 量	事業系 総排出量	918.70 トン	890.00 トン (-3.1%)
	1 事業所当たりの総排出量※ <sup>2</sup>	2.64 トン/事業所	2.56 トン/事業所 (-3.0%)
	家庭系 総排出量	1,253.74 トン	742.00 トン (-40.8%)
	1 人当たりの排出量※ <sup>3</sup>	612 kg/人	346 kg/人 (-43.5%)
合 計 事業系家庭系排出量合計		2,172.44 トン	1,632.00 トン (-24.9%)
再生利用量	直接資源化量	456.58 トン (21.0%)	510.21 トン (31.3%)
	総資源化量	486.84 トン (22.4%)	563.99 トン (34.6%)
熱回収量	熱回収 (年間の発電電力量)	-	-
減 量 化 量	中間処理による減量化量	1,023.20 トン (47.1%)	678.42 トン (41.5%)
最終処分量	埋立最終処分量	662.40 トン (30.5%)	389.59 トン (23.9%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1 事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量) } / (事業所数)

※3 (1 人当たりの排出量) = { (家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量) } / (人口)

《指標の定義》

排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量 (集団回収されたごみを除く。) [単位：トン]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位：トン]

熱回収量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位：MWh]

減量化量：中間処理量と処理後の残さ量の差 [単位：トン]

最終処分量：埋立処分された量 [単位：トン]

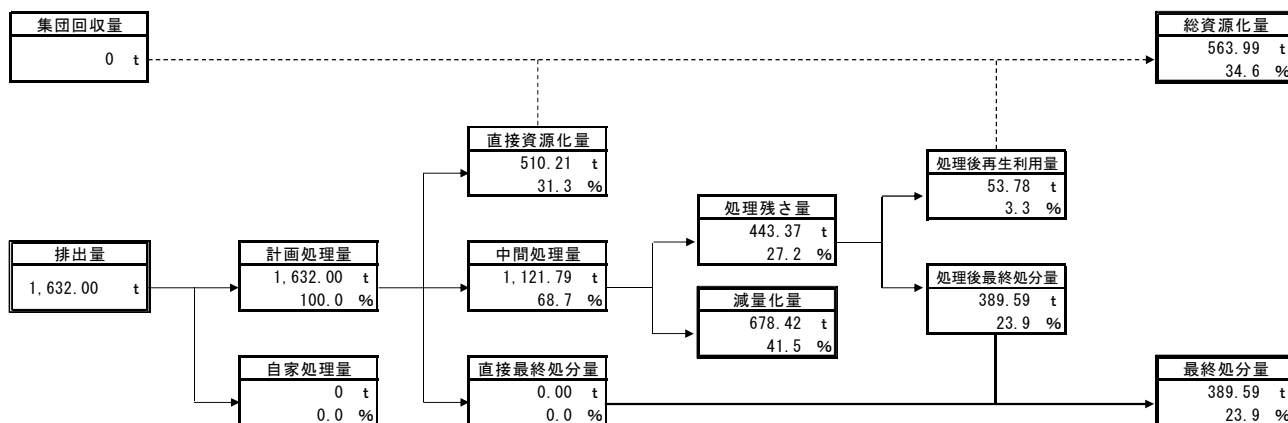


図3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー (平成28年度)

#### (4) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、表3に掲げる目標のとおり、農業集落排水施設の整備区域内は管渠接続への加入の促進を図り、整備区域外及び未処理人口は合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表3 生活排水処理に関する現状と目標

		平成21年度実績	平成28年度目標
処理 形態別 人口	公共下水道	0人(0.0%)	0人(0.0%)
	農業集落排水施設等	1,267人(63.3%)	1,497人(81.6%)
	合併処理浄化槽等	401人(20.1%)	234人(12.7%)
	未処理人口	331人(16.6%)	105人(5.7%)
合計		1,999人	1,836人
し尿・ 汚泥の 量	汲み取りし尿量	961キロリットル	305キロリットル
	浄化槽汚泥量	246キロリットル	143キロリットル
	合計	1,207キロリットル	448キロリットル

### 3 施策の内容

#### 【ごみ処理関係】

#### (1) 発生抑制、再使用の推進

##### ア 事業系ごみの有料化の見直し

現在、一般持込ごみ及び事業系ごみは累進従量制により課金しており、ごみ置き場を使用する事業者の場合は専用ごみ袋を購入し排出させている。

今後は、排出抑制及び適正排出と一層の費用負担の公平性を確保するため、一般持込ごみ及び事業系ごみについて、平成27年度までに料金の徴収方法、手数料単価及び適正排出の適否についても検討する。

##### イ 環境学習の普及啓発

ごみの発生抑制、再使用、ごみの適正排出に関する啓発を強化するとともに、啓発活動が効果的になるよう、各種団体と連携・協力しながら啓発手法を研究していく。

また、ごみ減量化・資源化に関する社会意識を育てるため、小・中学生を対象とした環境学習について教育委員会とともに連携・協力した取り組みを検討していく。

さらに、公共施設や地域社会の公的な場では、副読本・ポスター・リーフレット等を活用し啓発活動を行っていく。

##### ウ 情報提供

ごみ処理の現状や村の施策、各種団体の活動紹介、一般家庭や個人でできる発生抑制及び再使用への取り組み方の紹介等を広く情報提供し、ごみ発生抑制・再使用への取り組みや活動を推進していく。情報提供の場としては、村の広報紙や村のホームページ及び公共施設をはじめとする掲示板の有効活用も図っていく。

## エ 生活排水対策

一般家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、次の啓発活動の強化を図る。

- ・ 広報活動の実施
- ・ 三角コーナーネット、キッチンペーパー等の排出抑制用品の普及
- ・ 無リン洗剤、せっけんの使用

## (2) 処理体制

### ア 家庭ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法は、表4のとおりである。

現状、人口は減少傾向での推移が続いており、家庭系ごみも微減傾向となっている状況である。

今後は、清掃センター、粗大ごみ処理場及び資源リサイクル場の老朽化による処理能力の低下及び維持管理費の上昇が見込まれるため、新清掃センター及びリサイクルセンターの新設を整備し、安全・安定した適正処理を推進していく。

### イ 事業系ごみの処理体制の現状と今後

平成19年10月1日より一般持込ごみ及び事業系ごみの有料化を行っている。また、ダンボール、発砲スチロールは燃えるごみとして処理され、建設廃材及び伐採木、硬質プラスチックについては燃えないごみとして破砕処理されている。

今後は、ダンボールの資源化をはじめ、ごみの排出状況を調査するとともに、リサイクルの可能性について検討する。

### ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

一般廃棄物処理施設で産業廃棄物は、基本的に受け入れを行っていない。

ただし、神津島村廃棄物の処理及び清掃に関する条例に基づき、一般廃棄物と同様の性状で処理能力に余剰がある場合、産業廃棄物は必要に応じて処理を行う。

### エ 生活排水処理の現状と今後

生活排水の処理については、引き続き農業集落排水施設が整備されていない人口散在地域等で合併処理浄化槽の整備を進めていく。

また、神津島村農業集落排水処理施設から搬出される脱水汚泥は神津島村清掃センターで焼却処理しているが、汚泥の減量化を推進するための検討を始めている。

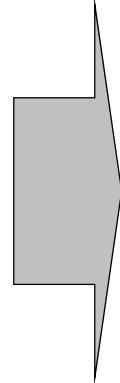


## オ 今後の処理体制の要点

- ◇一般持込ごみ及び事業系ごみについて、平成 27 年度までに料金の徴収方法、手数料単価及び適正排出の適否についても検討する。
- ◇平成 27 年度を目標に家庭系ごみ及び事業系ごみのダンボールの分別収集を実施する。
- ◇小・中学生を対象とした環境学習について教育委員会とともに連携・協力した取り組みを検討していく。
- ◇公共施設や地域社会の公的な場では、副読本・ポスター・リーフレット等を活用し啓発活動を行っていく。
- ◇一般家庭や個人でできる発生抑制及び再使用への取り組み方の紹介等を広く情報提供する。
- ◇情報提供の場としては、村の広報紙や村のホームページ及び公共施設をはじめとする掲示板の有効活用を図る。
- ◇神津島村地域において、(仮称)神津島村清掃センター及び(仮称)神津島村リサイクルセンターの 2 施設が平成 30 年度、(仮称)神津島村ストックヤードが平成 31 年度に竣工する計画である。(仮称)神津島村ストックヤードでは資源ごみの一次保管及び燃えないごみからの資源物の回収作業等に取り組む。
- ◇農業集落排水処理施設の対象区域外の地域については、合併処理浄化槽の整備・普及を進める。

表4 神津島村地域の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状（平成21年度）				
分別区分		処理方法	処理施設等	処理実績 （トン）
燃えるごみ		焼却	神津島村清掃センター	697.40
燃えないごみ		埋立		525.80
資源ごみ	ビン類	リサイクル	売却	30.54
	ペットボトル・缶類 牛乳パック			
有害ごみ	蛍光灯・乾電池等	島外搬出	委託	—



今 後（平成28年度）						
分別区分		処理方法		処理施設等		処理実績 （トン）
				一次処理	二次処理	
燃えるごみ		焼却		(仮称) 神津島村 清掃センター	(焼却灰) 大島町 管理型一般廃棄物 最終処分場施設	336.01
燃えないごみ		分別		(仮称) 神津島村 リサイクル センター	埋立 売却	299.00
資源ごみ	ビン類	リサイクル	再資源化	圧縮	売却	106.99
	ペットボトル・缶類					
	段ボール 牛乳パック					
有害ごみ	蛍光灯・乾電池等	島外搬出		委託		—

(注) 有害ごみは、t/年に換算すると小数点以下の表記となるため「—」としている。

(注) 有害ごみは、t/年に換算すると小数点以下の表記となるため「—」としている。

### (3) 処理施設等の整備

#### ア 廃棄物処理施設

上記(2)のとおり、本村の神津島村清掃センター、粗大ごみ処理場及び資源リサイクル場の老朽化が著しいことを考慮し、ごみの安全・安定処理・処分等の適正処理を進めるため、循環型社会の構築に向けて表5のとおり施設の更新及び新設を取り組んでいく。

表5 整備する処理施設

事業番号	施設整備種類	事業名	処理能力	設置予定地	今期計画 (第一期)	来期計画 (第二期)
参考-1	焼却施設	神津島村 焼却施設整備事業	6 t/日	神津島村区域内		H28~H30
参考-2	容器包装リサイクル 推進施設	神津島村 リサイクルセンター施設整備事業	1 t/5h	神津島村区域内		H28~H30

※現有施設の概要は、別紙を参照

(整備理由)

参考資料-1 既存施設の老朽化、処理の集約

参考資料-2 既存施設の老朽化、容器包装リサイクル法に基づくリサイクルの処理能力不足

※ 参考-1~2は、来期地域計画において整備を行う事業である。今期計画では、両施設整備（焼却施設、リサイクルセンター施設）の計画支援事業のみ実施するため参考として記載した。

#### イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、表6のとおり行う。

表6 合併処理浄化槽への移行計画

事業	直近の整備済 基数(基) (平成21年度)	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間
浄化槽設置整備事業	37	10	29	H23~H27
合計	37	10	29	

#### (4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表7のとおり計画支援事業を行う。

表7 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	今期計画 (第一期)
31	神津島村焼却施設整備（事業番号参考-1）に係る土壌汚染調査事業	土壌汚染調査	H23、26
	神津島村焼却施設整備（事業番号参考-1）に係る測量・地質調査事業	測量調査・地質調査	H23、25、26
	神津島村焼却施設整備（事業番号参考-1）に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H23、26
	神津島村焼却施設整備（事業番号参考-1）に係る基本計画・設計等事業	施設基本計画・設計等	H24、26
	神津島村焼却施設整備（事業番号参考-1）に係る造成設計事業	造成設計	H25、26
	神津島村焼却施設整備（事業番号参考-1）に係る発注仕様書等作成事業	見積仕様書・技術評価書・発注仕様書の作成	H27
32	神津島村リサイクルセンター施設整備（事業番号参考-2）に係る測量・地質調査事業	測量調査・地質調査	H23、25、26
	神津島村リサイクルセンター施設整備（事業番号参考-2）に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H23、26
	神津島村リサイクルセンター施設整備（事業番号参考-2）に係る施設基本計画・設計等業務	施設基本計画・設計等	H24、26
	神津島村リサイクルセンター施設整備（事業番号参考-2）に係る造成設計事業	造成設計	H25、26
	神津島村リサイクルセンター施設整備（事業番号参考-2）に係る土壌汚染調査事業	土壌汚染調査	H26
	神津島村リサイクルセンター施設整備（事業番号参考-2）に係る発注仕様書等作成事業	見積仕様書・技術評価書・発注仕様書の作成	H27

#### (5) その他の施策

その他、循環型社会の構築に向けて、以下の施策を継続・実施していく。

##### ア 各種リサイクル関連法に関する普及啓発

容器包装、家電、パソコン、資源有効利用促進等のリサイクル関連法に基づく適切な回収、処理、再商品化がなされるよう引き取り業者と協力し、広報紙及びごみの出し方、分別一覧表等を配布する等、普及啓発を継続していく。

##### イ ごみ不法投棄の防止

関係団体と連携し、キャンペーン、PR等の啓発事業を実施していく。

また、警察、郵便局及び各区の「となり組」との連携や、不法投棄防止看板・柵等の設置によりごみ不法投棄や不適正排出を防止していく。

##### ウ 緊急時のごみ処理

本村は、「神津島村地域防災計画」に則り、緊急時・災害時等に発生するごみの広域処理体制を確保し、村及び東京都との連携・連絡体制を図っていく。

また、一時仮置き場として、ストックヤード施設等を仮置き場の候補地とする。

## 4 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、東京都および国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

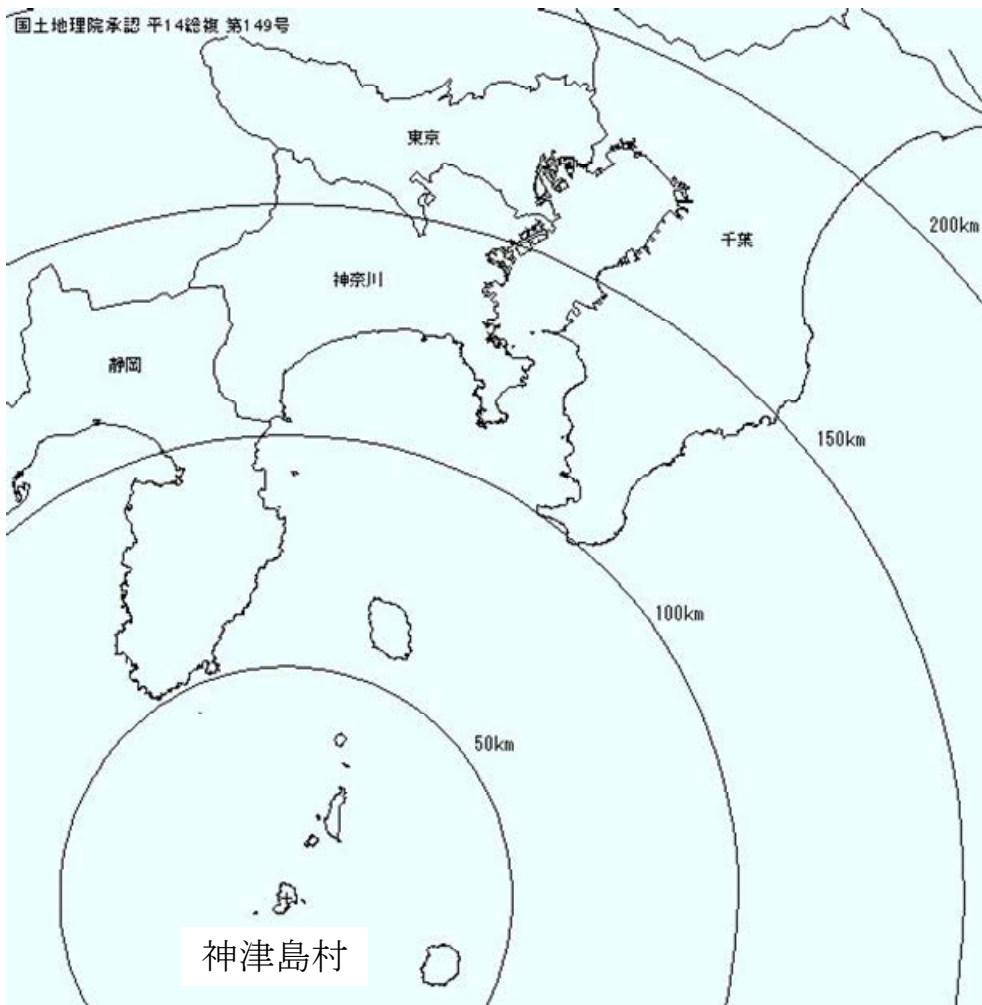
計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、計画の事後評価、目的達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

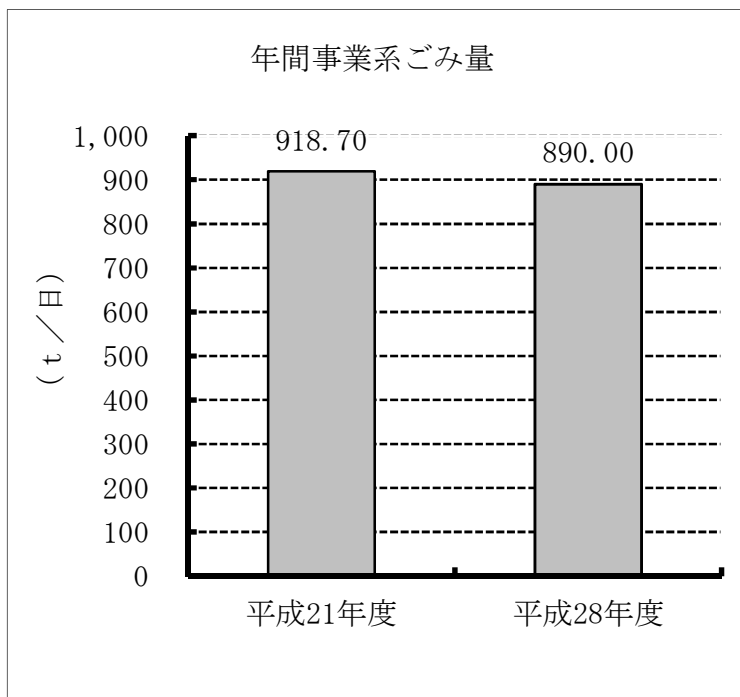
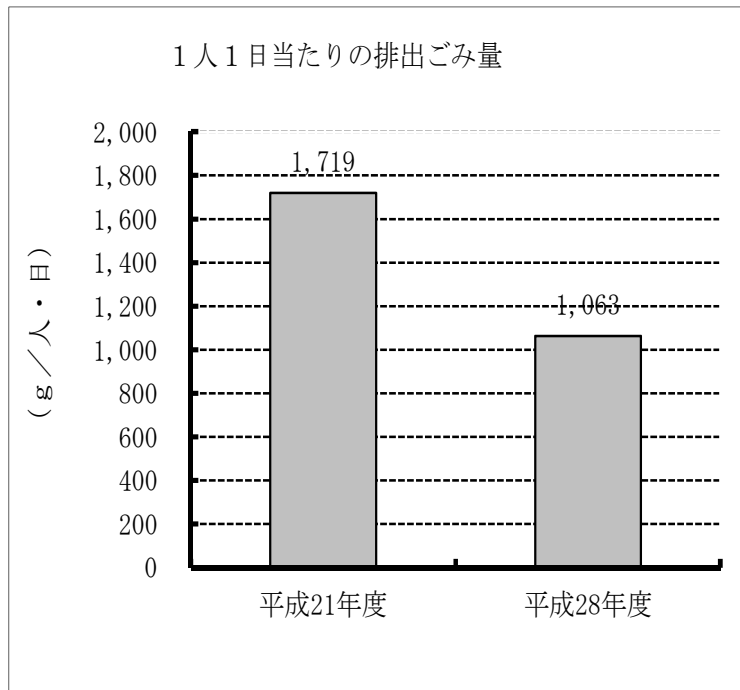
# 添 付 資 料





対象地域図





目標設定に関するグラフ

# 家庭ごみの出し方・分け方

神津島村

	ごみの種類 (代表例)	出す時の注意事項	収集日
燃えるごみ 燃えないごみ 資源ごみ 燃やさないごみ	<p>食品類、新聞紙・紙類、衣類、靴、革製品、プラスチック、ビニール、教育プラスチック</p>	※台所の生ごみは、良く水切りをして出して下さい。 ※丸み込み・木くずは、長さ5cm以内の物を長さ50cm以内直径20cmに束ねて出して下さい。 ※箱おむつは、汚物を取り除いて出して下さい。 ※新聞紙・雑誌・ダンボールは小さく束ねて出して下さい。 ※食用油は麻布巾に染み込ませるか、濾過料で固めて出して下さい。 ○生ごみは畑に埋めるなどして減量化にご協力下さい。	毎週 通常期 月・水・金 夏期 日～金 曜日
	<p>ガラス・陶器類、おもちゃ、おちらき、リサイクルマークのついた缶、板ガラス、小型家電製品、要領プラスチック</p>	※スプレー缶は、釘等で穴を開けてガスを抜いてから出して下さい。 ※小型家電製品、おもちゃ類は片手サイズのものまでとして下さい。 ※テレビ・エアコン・洗濯機・冷蔵庫(冷凍庫)等は持ち込まないで下さい。 ※缶類は、中身を捨て軽く水洗いしてから出して下さい。 ※缶類でリサイクルマークの表示のあるものは、資源ごみで出して下さい。	毎週 通常期 木 夏期 月・水・金 曜日
	<p>蛍光灯、乾電池</p>	※乾電池・蛍光灯は、不燃ごみステーションの、備え付けの容器に入れて下さい。	毎週木曜日
	<p>ペン類、ペットボトル、ビール、牛乳パック</p>	※缶・ペットボトル・ビンは軽く水洗いし、水を切ってからペットボトルと缶を1つの袋に、ビンと1つの袋にし、それぞれ別々に村指定の専用可燃ごみ袋で出して下さい。(ふたは燃やさないごみに) ※逆缶類(ビール、一升ビン)は、販売店へ！ ※牛乳パックは、解体してからよく洗って乾かし役場環境衛生課まで届けて下さい。	毎週 通常期 水 夏期 火・土 曜日
<p>テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機</p>	「家電リサイクル法」により、テレビ・エアコン・冷蔵庫(冷凍庫)・洗濯機の家電製品は、リサイクル処理が義務づけられています。 郵便局 家電リサイクル券に必要事項を記入し、リサイクル料金を支払う → 引取場所へ持ち込む(有)東環(有)為基 → 指定取引場所リサイクル施設	毎週木曜日	

台所のよく見えるところにはつっこみ袋を利用して下さい

- 燃えるごみ・燃えないごみ・資源ごみともに収集日の朝、9時までに出して下さい
- ごみは収集日以外の日や収集後には近所迷惑となるので、絶対に出さないで下さい
- 有害ごみ(乾電池等)は、ごみステーション(燃えない方)の備え付けの入れ物に入れて下さい。

## 現有施設の概要

### 焼却処理施設の概要

A. 施設名称	神津島村清掃センター
B. 所在地	東京都神津島村字鍛冶山 1
C. 竣工年	平成 6 年 8 月
D. 敷地面積	1, 625. 65㎡
E. 施設の種類	焼却処理
F. 処理能力	13 t / 日 × 1 炉
G. 処理する廃棄物	燃えるごみ、その他処理後残渣
H. 焼却残渣処分方法	島外搬出（埋立処分）
I. 運 転 管 理 体 制	直営

### 粗大ごみ処理施設の概要

A. 施設名称	神津島村粗大ごみ処理場
B. 所在地	東京都神津島村字鍛冶山
C. 竣工年	昭和62年 3 月
D. 敷地面積	3, 863㎡
E. 施設の種類	粗大ごみ処理
F. 処理能力	7. 5 t / 5 h
G. 処理する廃棄物	燃えるごみ、燃えないごみ
H. 運 転 管 理 体 制	直営

### 資源化処理施設の概要

A. 施設名称	神津島村リサイクル場
B. 所在地	東京都神津島村字大沢 2 4 7 番地
C. 竣工年	平成10年 3 月
D. 敷地面積	230.82m <sup>2</sup>
E. 施設の種類	資源化処理
F. 処理能力	0.05 t / 5 h
G. 処理する廃棄物	資源ごみ
H. 運 転 管 理 体 制	委託



# 樣 式 關 係

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 25 年度)

1 地域の概要

(1) 地域名	神津島村地域	(2) 地域内人口	1, 999人 (H22.3末)	(3) 地域面積	18.87 km <sup>2</sup>
(4) 構成市町村名等	神津島村	(5) 地域の要件*	人口 面積 沖縄 (離島) 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他	設立 (予定) 年月日: 年 日 設立、認可予定	
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村: - 設立されていない場合、今後の見通し: -				

\* 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生

指標・単位	年	過去の状況・現状 (排出量に対する割合)					目標 (割合 <sup>*1</sup> ) (平成28年度)
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
排出量	事業系 総排出量 (トン)	142.64	204.30	530.70	759.80	918.70	890.00 (H21比 -3.1%)
	1事業所当たりの排出量 (トン/事業所)	0.41	0.59	1.53	2.18	2.64	2.56 (H21比 -3.0%)
	家庭系 総排出量 (トン)	886.62	1,607.40	1,252.44	1,081.36	1,253.74	742.00 (H21比 -40.8%)
	1人当たりの排出量 (kg/人)	400	736	581	522	612	346 (H21比 -43.5%)
	合計 事業系家庭系排出量合計 (トン)	1,029.26	1,811.70	1,783.14	1,841.16	2,172.44	1,632.00 (H21比 -24.9%)
再生利用量	直接資源化量 (トン)	10.41 ( 1.0%)	9.60 ( 0.5%)	2.84 ( 0.2%)	323.16 ( 17.6%)	456.58 ( 21.0%)	510.21 ( 31.3%)
	総資源化量 (トン)	37.40 ( 3.6%)	49.20 ( 2.7%)	55.74 ( 3.1%)	361.66 ( 19.6%)	486.84 ( 22.4%)	563.99 ( 34.6%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量 MWh)	-	-	-	-	-	-
減量化量	中間処理前後の差 (トン)	825.22 ( 80.2%)	800.80 ( 44.2%)	1,120.40 ( 62.8%)	1,025.90 ( 55.7%)	1,023.20 ( 47.1%)	678.42 ( 41.5%)
最終処分量	埋立最終処分量 (トン)	166.64 ( 16.2%)	961.70 ( 53.1%)	607.00 ( 34.0%)	453.60 ( 24.6%)	662.40 ( 30.5%)	389.59 ( 23.9%)

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

(注1) 中間処理前の量は最終処分量より下回る実績であり、また平成18、19年度の最終処分量実績は計量機器によるものではない。  
(平成19年度は一部計量している。)

(注2) 四捨五入による端数処理をしているため、合わない箇所がある。

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力 (単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止、新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力 (単位)	
資源化処理 粗大ごみ処理	神津島村	圧縮・梱包 併用	有	0.05 t/5h 7.5 t/5h	H10.4 S62.3	H31.3	老朽化、集約処理	破碎・選別・圧縮式	H31.3	1 t/5h	
		焼却処理	神津島村	機械化バッチ式	有	13 t/日	H6.8	H31.3	老朽化、集約処理	機械化バッチ式	H31.3
ストックヤード	神津島村						資源物等の貯留の確保	ストックヤード	H32.3	300 m <sup>2</sup>	

※現有施設の概要及び計画地域内の施設の状況 (現況、予定) を地図上に示したものを参照。

#### 4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	過去の状況・現状					目標
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成28年度
総人口	2,148	2,129	2,065	1,999	1,999	1,836
公共下水道	汚水衛生処理人口	0	0	0	0	0
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	732	1,069	1,129	1,213	1,267
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	34.1%	50.2%	54.7%	60.6%	63.3%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	982	632	509	445	401
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	45.7%	29.7%	24.6%	22.3%	20.1%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	434	428	427	341	331

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。

#### 5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	神津島村	37	105	S62	10	29	H28	

※計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付した。



本村の計画収集人口の将来予測を表様式1-1に示す。

表 様式1-1 計画収集人口の将来予測

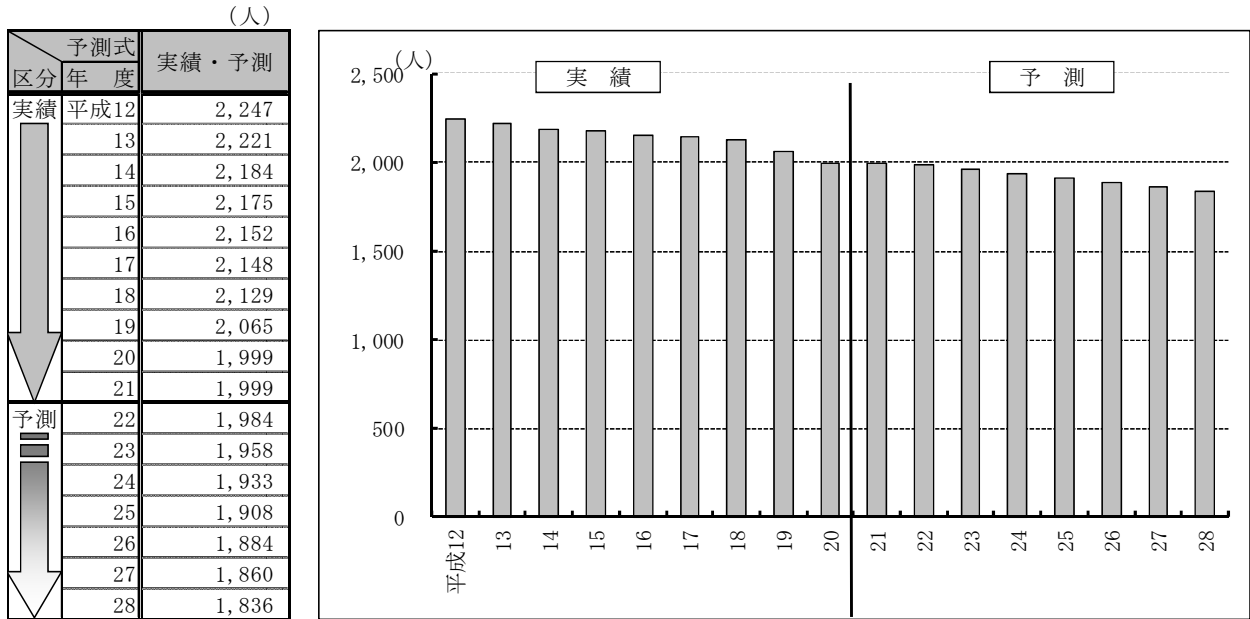
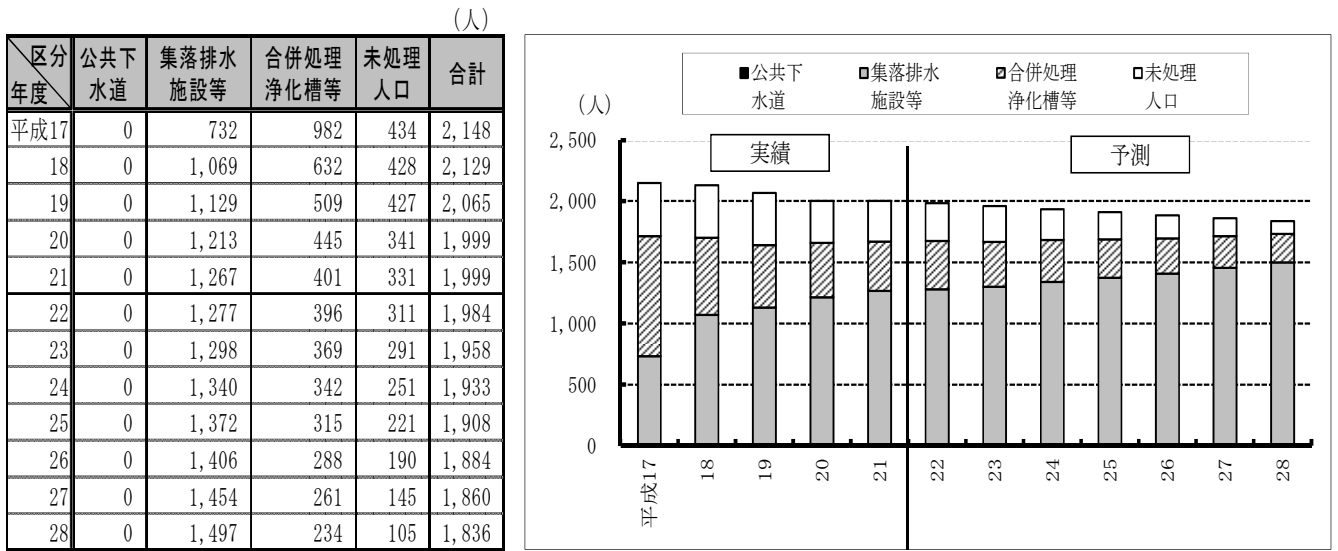
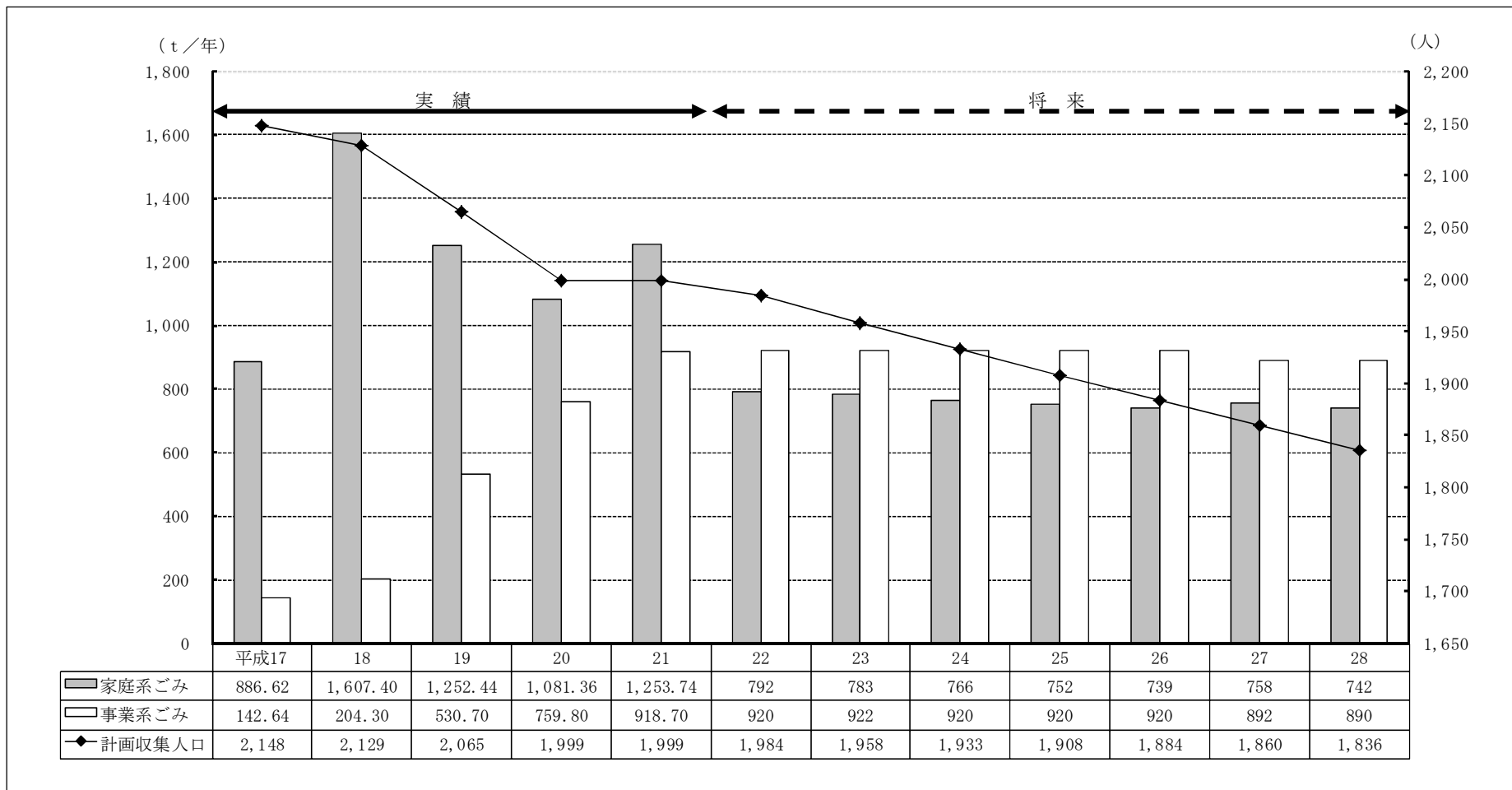


表 様式1-2 生活排水処理人口の将来予測



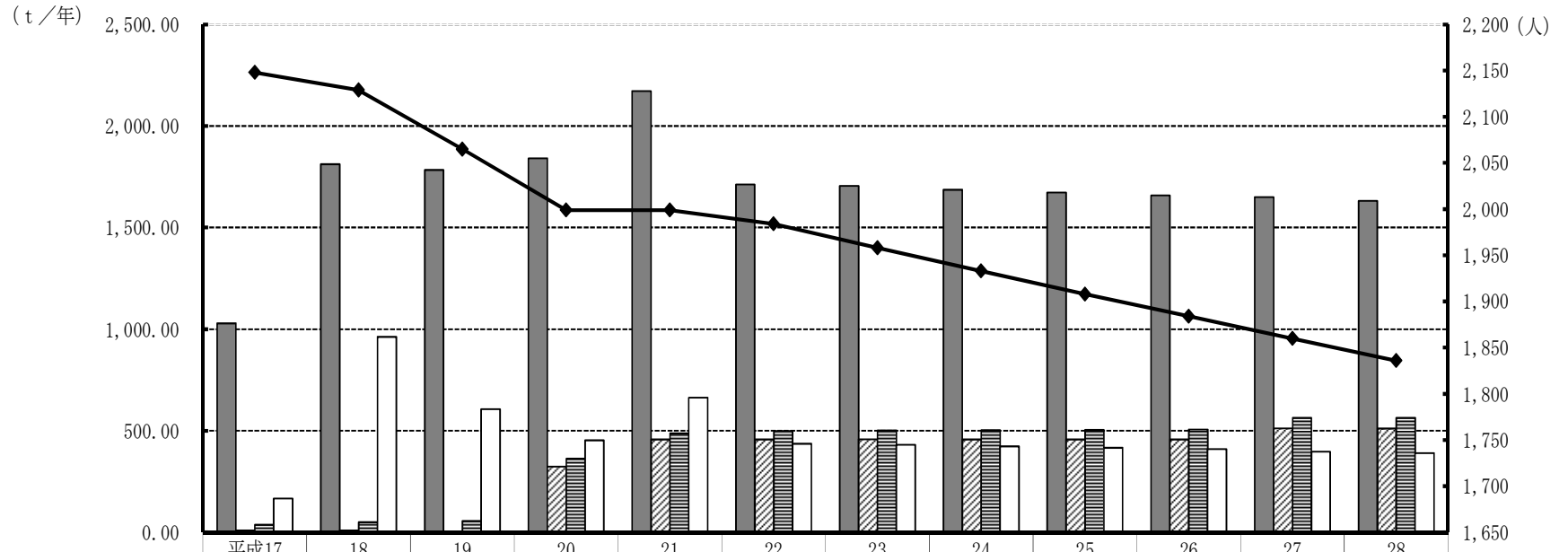
本村の排出ごみ量の将来予測を表様式1-3、指標と人口等のトレンドグラフを表様式1-4に示す。

表 様式 1 - 3 排出ごみ量の将来予測



(注) 家庭系ごみは、ごみの有料化及びごみの適正排出の周知・啓発に取り組んだことにより、村民へごみ減量化の意識が定着し、ごみ排出量の減量化が見込まれる。この結果として、平成22年度の家系ごみ排出量は前年度を大きく下回り、平成22年12月末までの実績（約600 t）から、平成22年度は約800 tが見込まれる。こうした状況を総合的に判断して、今後の家庭系ごみ排出量は平成22年度の見込み実績量程度で推移していくものと予測した。

表 様式 1-4 指標と人口等のトレンドグラフ



■ 事業系家庭系排出量合計	1,029.26	1,811.70	1,783.14	1,841.16	2,172.44	1,712.00	1,705.00	1,686.00	1,672.00	1,659.00	1,650.00	1,632.00
▨ 直接資源化量	10.41	9.60	2.84	323.16	456.58	457.20	458.20	457.20	457.20	457.20	512.03	510.21
▤ 総資源化量	37.40	49.20	55.74	361.66	486.84	499.10	501.61	502.20	503.88	505.64	563.07	563.99
□ 最終処分量	166.64	961.70	607.00	453.60	662.40	435.77	431.12	422.64	415.50	409.35	397.11	389.59
◆ 人口	2,148	2,129	2,065	1,999	1,999	1,984	1,958	1,933	1,908	1,884	1,860	1,836

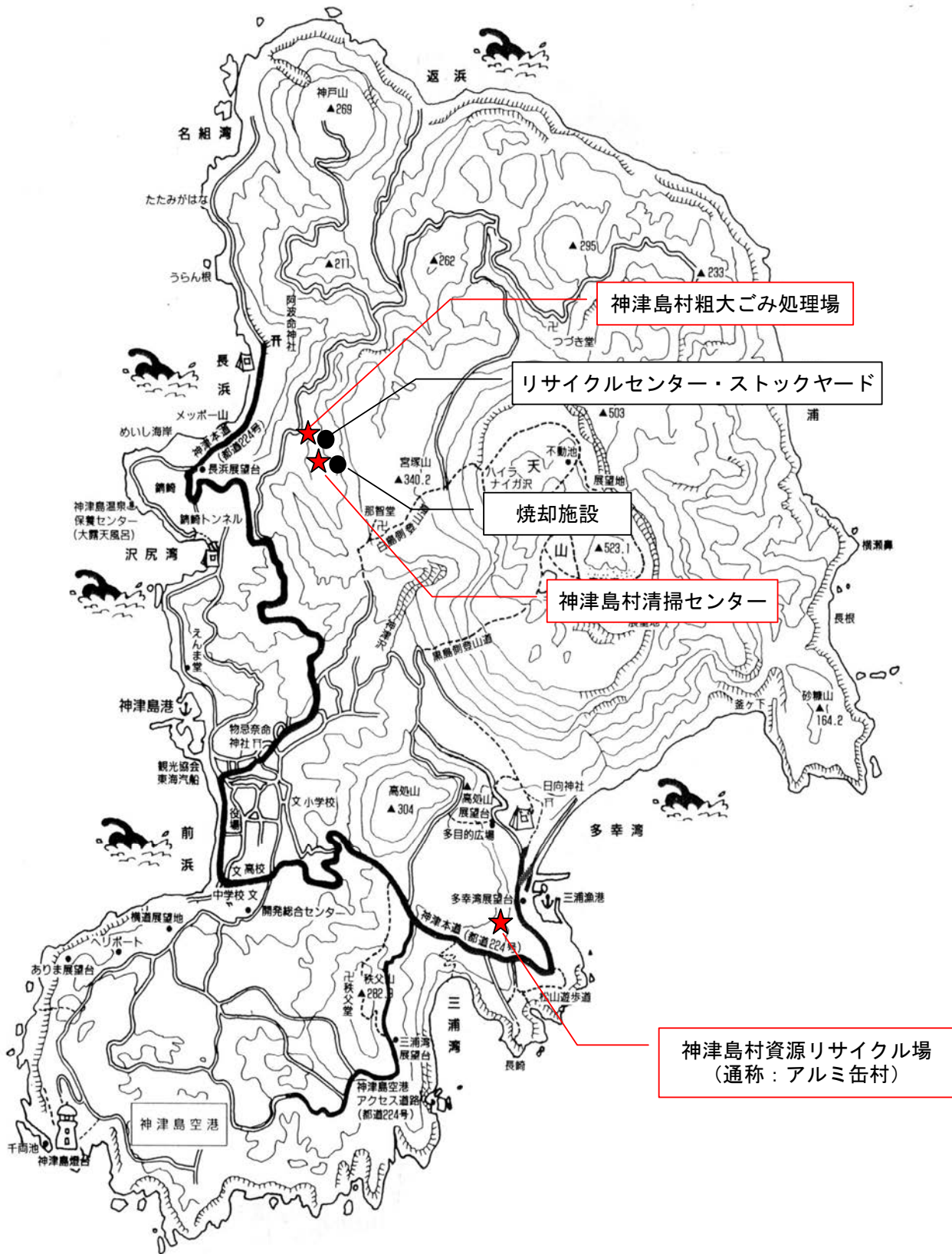


図 様式 1 - 1 計画地域内のごみ処理施設の状況（現況、予定）

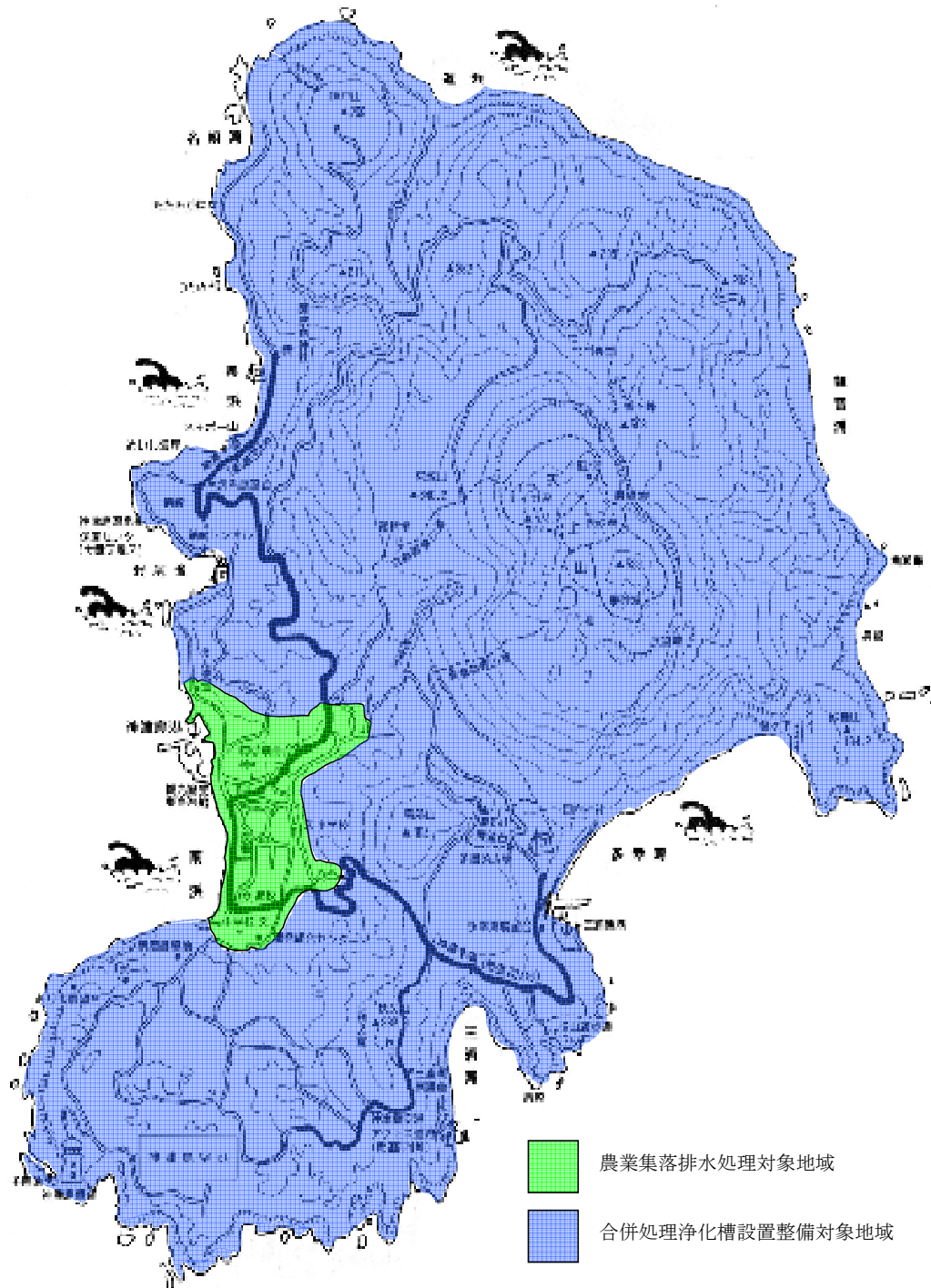


図 様式 1 - 2 計画地域内の合併処理浄化槽の状況 (予定)

様式 2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成 25 年度)

事業種別 事業名称	事業番号 ※1	事業主体 名称 ※2	規模 単位	事業期間 交付期間		総事業費(千円)						交付対象事業費(千円)						備考		
				開始	終了	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成28年 度以降)	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成28年 度以降)			
○ 再生利用に関する事業						(200,000)						(200,000)	(190,000)						(190,000)	
リサイクルセンター						(200,000)						(200,000)	(190,000)						(190,000)	
選別設備整備	参考-2	神津島村	1 t / 5 h	H28	H30	(200,000)						(200,000)	(190,000)						(190,000)	
○ 焼却施設に関する事業						(2,000,000)						(2,000,000)	(1,600,000)						(1,600,000)	
焼却施設整備	参考-1	神津島村	6 t / 日	H28	H30	(2,000,000)						(2,000,000)	(1,600,000)						(1,600,000)	
○ 浄化槽に関する事業						3,000	600	600	600	600	600		3,000	600	600	600	600	600	600	
浄化槽設置整備	3	神津島村	14 5人槽5基 7人槽5基	H23	H27	3,000	600	600	600	600	600		3,000	600	600	600	600	600	600	
○ 施設整備に関する計画支援に関する事業						115,917	44,000	6,000	7,917	52,000	6,000		115,917	44,000	6,000	7,917	52,000	6,000		
土壌汚染調査	31・32	神津島村		H23	H26	11,000	10,000			1,000			11,000	10,000			1,000			
測量・地質調査	31・32	神津島村		H23	H26	16,969	4,000		2,969	10,000			16,969	4,000		2,969	10,000			
生活環境影響調査	31・32	神津島村		H23	H23	35,000	30,000			5,000			35,000	30,000			5,000			
施設基本計画・設計等						12,000		6,000		6,000			12,000		6,000		6,000			
焼却施設・リサイクルセンター	31・32	神津島村		H24	H24	12,000		6,000		6,000			12,000		6,000		6,000			
造成設計	31・32	神津島村		H25	H26	34,948			4,948	30,000			34,948			4,948	30,000			
発注仕様書等作成						6,000					6,000		6,000						6,000	
見積仕様書・技術評価書・発注仕様書	31・32	神津島村		H27	H27	6,000					6,000		6,000						6,000	
合計						118,917 (2,200,000)	44,600	6,600	8,517	52,600	6,600	(2,200,000)	118,917 (1,790,000)	44,600	6,600	8,517	52,600	6,600	(1,790,000)	

(注1) 複数年度にわたる事業の場合は、事業期間で費用を按分しています。

(注2) 内訳の費用は、四捨五入による端数処理をしているため、合計と合わない箇所があります。

様式 3

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 の取組	事業計画					備考 (平成28年度以降)	備考
					開始	終了		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	事業系ごみの有料化の見直し	一般持込み及び事業系ごみのごみの搬入種類、抜き打ち検査及び処理手数料を検討する。	神津島村	H23	H27	×	調査・研究・検討			事業実施	事業実施		
	12	環境学習の普及啓発	環境問題の懇談会を中心に環境学習の普及啓発に取り組む。	神津島村	H23	H27	×	施策の継続・調査・検討			事業実施	普及啓発		
	13	情報提供	一般家庭や個人を対象とした発生抑制、再使用の取り組み方の紹介や活動の推進をする。	神津島村	H23	H27	×	施策の継続・調査・検討			事業実施	普及啓発		
	14	生活排水普及啓発事業	生活排水対策に関する普及啓発を行う。	神津島村	H23	H27	×				事業実施	事業実施		
処理体制の構築、変更に関するもの	21	施設整備に伴う分別区分の見直し	資源ごみに段ボールを追加する。	神津島村	H26	H27	×				事業準備	事業実施	普及啓発	関連事業 参考-2
	22	農業集落排水の汚泥の半減	農業集落排水施設への接続を推進し汚泥の半減を目指す。	神津島村	H23	H24	×	事業準備	事業実施					
再生利用に関するもの	参考-2	神津島村リサイクルセンター整備事業		神津島村	H28	H30	○				建設工事		関連事業 21, 32	
処理施設の整備に関するもの	参考-1	神津島村焼却施設整備事業		神津島村	H28	H30	○				解体・建設工事		関連事業 31	
	4-3	合併処理浄化槽設置計画		神津島村	H23	H27	○	設置工事			設置工事			
施設整備に係る計画支援に関するもの	31・32	参考-1・2の支援計		神津島村	H23	H27	○	土壌汚染調査 測量・地質調査 基本計画・設計 生活環境影響調査 現地調査・評価書作成	測量調査 地質調査 基本計画・設計 造成基本設計	地歴調査 地質調査 見積仕様書・技術評 発注仕様書作成 施設計画 造成実施設計 生活環境影響調査				
その他	41	各種リサイクル関連法に関する普及啓発	広報紙及びごみの出し方、分別一覧表等を配布する等、普及啓発を継続する。	神津島村	H23	H29	×	周知・普及啓発			周知・普及啓発			
	42	ごみ不法投棄の防止	キャンペーン、PR等の啓発事業の実施や不法投棄防止看板・標等の設置をする。	神津島村	H23	H29	×	パトロールの強化			パトロール強化			
	43	緊急時のごみ処理	地域防災計画を踏まえた体制整備について、を構築を進めていく。	神津島村	H23	H25	×	体制整備に向けた検討・調整	方針策定					

## 施設概要（浄化槽系）

都道府県名 東京都

(1) 事業主体名	神津島村
(2) 事業の名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	平成15年4月から農業集落排水施設の供用が開始したが、その範囲外において生活排水が未処理のまま海へ流入しており、合併処理浄化槽を奨励することにより海洋地域への影響を最小限に食い止めると共に、公共用水域の水質汚濁を防止する。
(4) 事業期間	平成23年度～平成27年度
(5) 事業対象地域の要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水源の流域</li> <li>・自然公園法第2条第1項に規定する自然公園等に優れた自然環境を有する地域</li> </ul>
(6) 事業計画額	交付対象事業費 3,000千円

## ○事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

## 【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	5基 (11人分)	基	1,250,000	1,250,000	1,250,000
6～7人槽	5基 (18人分)	基	1,750,000	1,750,000	1,750,000
8～10人槽	基 (人分)	基			
11～20人槽	基 (人分)	基			
21～30人槽	基 (人分)	基			
31～50人槽	基 (人分)	基			
51人槽以上	基 (人分)	基			
改築	0基				
計画策定調査費					
合計	10基 (29人分)	0基	3,000,000	3,000,000	3,000,000



区 分	交付対基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	基 (人分)	基			
6～7人槽	基 (人分)	基			
8～10人槽	基 (人分)	基			
11～20人槽	基 (人分)	基			
21～30人槽	基 (人分)	基			
31～50人槽	基 (人分)	基			
51人槽以上	基 (人分)	基			
事務費等	必要に応じて区分名を修正して記載				
合 計	0 基 ( 0 人分)	0 基			

○事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較  
(複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること)

市町村総人口 \_\_\_\_\_

市町村世帯数 \_\_\_\_\_

対象地域人口 \_\_\_\_\_

対象地域世帯数 \_\_\_\_\_

	総建設費	1年当たり 建設費	1年当たり 維持管理費	1年当たり コスト
集合処理で整備した場合				
個別処理で整備した場合				

施設比較検討の積算内容資料を添付(様式は自由)

## 計 画 支 援 概 要

都道府県名 東京都

(1) 事業主体名	神津島村		
(2) 事業目的	神津島村焼却 施設整備のため		
(3) 事業名称	神津島村 焼却施設に係る 土壤汚染調査事業	神津島村 焼却施設に係る 測量調査・地質調査事業	神津島村 焼却施設に係る 生活環境影響評価事業
(4) 事業期間	平成23、26年度	平成23、25、26年度	平成23、26年度
(5) 事業概要	土壤汚染調査	測量調査・地質調査	生活環境影響調査
(6) 事業計画額	11,000,000 円	16,967,000 円	60,000,000 円

## 計 画 支 援 概 要

都道府県名 東京都

(1) 事業主体名	神津島村		
(2) 事業目的	神津島村焼却 施設整備のため		
(3) 事業名称	神津島村 焼却施設に係る 施設基本計画・設計等事業	神津島村 焼却施設に係る 造成設計事業	神津島村 焼却施設に係る 発注仕様書等作成事業
(4) 事業期間	平成24、26年度	平成25、26年度	平成27年度
(5) 事業概要	施設基本計画・設計等	造成設計	見積仕様書・技術評価書・ 発注仕様書の作成
(6) 事業計画額	12,000,000 円	34,948,000 円	6,000,000 円

## 計画支援概要

都道府県名 東京都

(1) 事業主体名	神津島村		
(2) 事業目的	神津島村リサイクルセンター 施設整備のため		
(3) 事業名称	神津島村 リサイクルセンター に係る 測量調査・地質調査事業	神津島村 リサイクルセンターに係る 生活環境影響評価事業	神津島村 リサイクルセンターに係る 施設基本計画・設計等事業
(4) 事業期間	平成23、25、26年度	平成23、26年度	平成24、26年度
(5) 事業概要	測量調査・地質調査	生活環境影響調査	施設基本計画・設計等
(6) 事業計画額	焼却施設に計上	焼却施設に計上	焼却施設に計上

## 計 画 支 援 概 要

都道府県名 東京都

(1) 事業主体名	神津島村		
(2) 事業目的	神津島村リサイクルセンター 施設整備のため		
(3) 事業名称	神津島村 リサイクルセンターに係る 発注仕様書等作成事業	神津島村 リサイクルセンターに係る 造成設計事業	神津島村 リサイクルセンターに係る 土壌汚染調査事業
(4) 事業期間	平成27年度	平成25、26年度	平成26年度
(5) 事業概要	見積仕様書・技術評価書・ 発注仕様書の作成	造成設計	土壌汚染調査
(6) 事業計画額	焼却施設に計上	焼却施設に計上	焼却施設に計上



神津島村地域 循環型社会形成推進地域計画

平成 23 年 1 月 発行

平成 24 年 12 月 変更

平成 25 年 12 月 変更

(事務局) 監修・発行：東京都 神津島村 環境衛生課

〒100-0601 東京都神津島村 904

TEL:04992-8-0011 FAX:04992-8-1242